

総合学習 第2学年 「環境」

授業者 太田市立東中学校 赤石 隆

笠原 哲也

1,本時のねらい

お互いの課題設定の方法の違いに気づかせ、「環境」について、調査、体験、実践活動によって明らかになったことをわかりやすく発表すると共に、今後の実践活動に向けての見通しについての意見交換を行い、自分たちの課題追求を深めていくための方向性を見出す。

2,視聴覚機器の位置づけ

テレビ会議を用い、他校と意見交換を取り入れることにより、テーマに関する生徒の追求意欲をさらに高めることができた。

取り組んでいるテーマは、「環境」～私たちの生活を考えよう～であり、身近な地域の調査体験活動を行った。その際、デジタルカメラを用いて、情報収集の取材に活用した。

中間発表会では、プレゼンテーションソフト、実演等を活用し、多様な発表方法を工夫させることによって、それぞれの良さに気付かせた。



3,授業の概要

太田市立東中学校と太田市立南中学校の両校における「環境」についての調査・研究の中間発表をテレビ会議を活用して行い、両校での意見交換活動を通して今後の課題追求の方向性を見出していくという授業である。

はじめに、東中から環境に関する×クイズを取り入れて、今までの取り組みの概要説明があり、南中からも取り組みの概要を説明してもらい、班による中間発表(各中学校より2班ずつ)・意見交換へ進んでいった。

発表1「蛇川の水質調査」(南中)

透視度計の作り方や使い方の説明の後、透視度・におい・ゴミや周辺の様子3項目での蛇川の水質調査の方法の発表があった。その後の東中からの質問では、「なぜ透明度では調べないのか」「水のおいの判定方法は」が出された。また、「透視度計が手作りなのは素晴らしい」と感想も述べられた。

発表2「東中学区の水を調べよう」(東中)

COD、PH(ペーハー)、電気伝導度の3つの観点から水質を調査した。COD試薬を用いたり、PHメーター、簡易電気伝導度計を実際に使用して検査法を説明し、各基準値や調査結果について発表があった。その後の南中からの質問では、「水を採取してから検査まで日数があるがどのように対応したのか」「COD試薬の入手方法は」「調査した3項目の基準値をもう一度教えてください」が出された。

発表3「省エネ方法の実践的研究」(南中)

家庭で使う一日のエネルギー 省エネに対する意識調査 エネルギーを節約する方法の3つの視点で研究をしている。 に関しては、家庭の電力メーターを用いて調べる。

については、南中の2年生対象にアンケート調査を行う予定であり、 については、インターネットや東京電力での聞き取り調査を実施して調べた。特に でのテレビの省エネ方法について詳しい発表があった。その後の東中からの質問では、「アンケートの内容を教えてください」「経済的な面以外での省エネのメリットは」が出された。

発表4「ナマズとドジョウについて」(東中)

太田市周辺に生息するナマズについて、そして養殖場での聞き取り調査をもとに、ドジョウの生態や養殖方法等についての発表があった。その後の南中からの質問では、「なぜナマズやドジョウを調べようと思ったのか」「ナマズやドジョウはどこにいるのか」が出された。